
私がゲーム世界の救世主!?

藤紅玉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私がゲーム世界の救世主！？

【Nコード】

N1816V

【作者名】

藤紅玉

【あらすじ】

「私がこの世界の救世主！？」

普通の高校生がゲーム世界に迷いこんでしまった。その名は あんず。

あんずはゲーム世界にある異変が起こっていることを知らされる。ゲームをプレイしていた人々 つまりプレイヤーが現実世界での記憶を失いNPCとしてゲーム世界に取り込まれてしまっているというのだ。

あんずは異変を解決し、プレイヤーを救えるのか！？

あらすじ？（前書き）

皆様初めまして藤紅玉という者です。

約7ヶ月前から小説をこのサイトで執筆しております。

前にも別の小説を作成していたのですが、学校や塾で忙しかったり、ネタが尽きたり、体調を崩したりなどで最後まで書くことが出来ませんでした。

本作品はその小説を新たに書き直した作品にする予定です。

まだまだ執筆初心者ですがよろしく願いたします。

あらすじ？

（私は前もって予約していた それを受け取り、家への道を急いだ。出来る限り早く それ の中身を見てみたかったからだ。家に着くと同時に私は自室の扉に向かって猛然と走った。今の私ならば100メートルを1秒で駆け抜けられる自信がある……前言撤回、私はそんなに速くは走れない。

「…………… アンズ」

「 アンネ どうしたの？」

「音声入力機能の設定を間違っている」

「嘘！？ 本当だ」

「私が直してやる」

「直った！ ありがとうアンネ」

「お前はもう少し機械の扱い方を学ぶべきだな」

「了解ですアンネローゼ様。 それじゃ、さっそく入力し直してみますか」

私は前もって予約していたゲー……………

「待てアンズ」

「何？」

「前の文章が入力されたままだ。リセットしてやり直せ」

「了解…………… って私たちの話した内容まで入力されてる！？」

「当たり前だ。音声入力だからな」

「そ、そうだった、すっかり忘れてた」

「お、お前というやつは……………」

「それじゃさっそくりセット……………」

「待てっ、それは送信ボタンだ！」

「えっ？ あっ！？」
（「？」）

あらすじ？（後書き）

次回から本格的にスタートです！
のんびりと無理せずに執筆していく予定です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1816v/>

私がゲーム世界の救世主!?

2011年12月14日00時52分発行